

ねやがわ

平成 29 年（2017 年）5 月 1 日号

No.219

# 議会だより

**レンゲ畑の開放!**



(高宮地区にて)

## 誌面のご案内

|              |    |
|--------------|----|
| 定例会のあらまし     | 1  |
| 市議会の流れ       | 2  |
| 代表質問         |    |
| 公明党市会議員団     | 3  |
| 新風ねやがわ議員団    | 5  |
| 日本共産党市会議員団   | 7  |
| 大阪維新の会議員団    | 9  |
| 新生ねやがわクラブ議員団 | 10 |
| 議決結果一覧       | 11 |

**3 月定例会を開催**

**市政運営方針に対して**

**会派代表が質問！！**

**平成 29 年度予算を可決！**

## 平成29年3月定例会

寝屋川市議会は、2月27日から3月21日までの23日間にわたり、平成29年3月定例会を開催しました。

この議会では、市長から提案された33件の議案のほか、議員が提案した意見書3件を審議しました。

また、市長市政運営方針に対する代表質問を行い、会派を代表して5人の議員が質問しました。

### 人 事 案 件

3月定例会において、次の方を教育委員会教育長に任命することに同意しました。

たかす いくお  
高須 郁夫氏

### 議 案 の 概 要

#### 執行機関の附属機関に関する 条例の一部改正

市長の附属機関として、次の委員会を設置するため、条例の一部を改正するものです。

◎みんなのまち基本条例検証委員会  
みんなのまち基本条例の内容についての検証を行います。

◎携帯端末用アプリケーションソフト構築事業者選定委員会  
携帯端末用アプリケーションソフトを構築する事業者の選定についての審査を行います。

◎子育てリフレッシュ館遊びスペース設置事業者選定委員会  
(仮称)市立子育てリフレッシュ館の遊びスペースを設置する事業者の選定についての審査を行います。

◎待機児童保育施設整備事業者選定委員会  
待機児童を対象とする保育施設を整備する社会福祉法人等の選定についての審査を行います。

#### 市税条例の一部改正

地方税法の改正により、軽自動車税について、燃費性能等に応じて賦課する「環境性能割」を創設し、現行の軽自動車税を種別割とすることとされたことに伴い、軽自動車税の環境性能割の課税客体、納税義務者等を定めること等から、条例の一部を改正するものです。

#### 一般職の職員の給与に関する 条例等の一部改正

市職員の給料月額、勤勉手当の改定や、中核市への移行準備の一環として保健所の医師に適用する「医療職給料表」を新設すること等から、条例の一部を改正するものです。

#### 一般会計補正予算

平成28年度一般会計補正予算(第6号)は、1億623万2000円を減額するもので、主な内容は次のとおりです。

○給与改定等に伴う人件費等の精算補正

〔1億964万750000円〕

○人件費の精算等に伴う枚方寝屋川消防組合負担金の減額

〔△1億1290万40000円〕

○新ごみ処理施設建設工事の減額(平成28年度に予定した工事を翌年度の施工としたため)

〔△2億8420万円〕

○子ども医療費公費負担に係る経費の追加(2716万50000円)

○待機児童ZEROプラン推進事業のPR(京阪電車駅へのポスター掲示等)に係る経費

〔47万80000円〕

○防犯カメラ等を設置する民間保育所等に対する運営等補助金の追加

〔439万20000円〕

これにより、平成28年度一般会計予算歳入歳出の総額は、922億6405万1000円となりました。



# 市議会の流れ

議会が開かれて終了するまでの活動の流れを紹介します。

## 告 示

議会(定例会・臨時会)を開くときは、7日前までに市長が議会の招集を告示します。定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)招集することとしています。

## 議会運営委員会

議会運営委員会は、議会の円滑な運営を図るため、会議の進め方など、議会の運営について協議します。

## 本 会 議

本会議では、市長や議員から提案された議案や市民の方等から提出された請願などを審議するほか、市政についての質問(代表質問・一般質問)などを行います。

なお、条例や予算・決算の議案などを詳細に審査するため、常任委員会・特別委員会に付託します。



議場で開かれる本会議の様子

## 常 任 委 員 会

常任委員会は、その部門に属する市の事務に関する調査を行い、付託された議案や請願などを審査します。

議員は、下記のいずれかの常任委員会に所属します。

### 総務常任委員会

財政、自治振興、税金、防災防犯など

### 建設水道常任委員会

道路、公園、都市計画、上下水道など

### 厚生常任委員会

高齢者・児童・障害者等の福祉、健康増進、保育所、ごみ処理、産業振興など

### 文教常任委員会

学校教育、幼稚園、社会教育など

## 特 別 委 員 会

特別委員会は、特定の議案などを審査・調査するために、必要に応じて設置される委員会です。

### 決算審査特別委員会

中核市移行調査特別委員会 など

## 本 会 議

委員会での審査が終わると、再び本会議が開かれ、委員会の審査の経過と結果について、委員長から報告されます。

その後、委員長の報告に対する質疑、討論を経て、議案などの賛否を多数決で決定します。

# 問 質 表 代

市長の市政運営方針に対する代表質問を3月7日・8日に行いました。  
その一部要旨を掲載します。

## 公明党市会議員団

### 私のお気に入りのまち

#### 寝屋川市へ

|        |       |      |       |       |       |       |
|--------|-------|------|-------|-------|-------|-------|
| 野々下 重夫 | 池添 義春 | 岡 由美 | 梶本 孝志 | 住田 利博 | 高見 雄介 | 村上 順一 |
|--------|-------|------|-------|-------|-------|-------|

#### 在宅医療・介護の連携

**問** 市における在宅医療・介護の連携についての取組内容は、

**答** 地域における医療・介護の人材等を把握し、情報冊子を作成するとともに、医療関係者や介護事業所が参加する会議を開催し、連携強化に努めている。

今後は、在宅医療・介護連携推進拠点において、さらに医療と介護の連携を進めていく。

#### 高齢者交通系ICカード購入補助事業

**問** 高齢者交通系ICカード購入補助事業を平成29年度から実施するに当たり、補助対象を年齢区分した経緯は。

**答** より一層介護予防、外出促進の効果を得るため、高齢者バスカード購入補助事業の対象者に加え、要介護のリスクが高い75歳以上の全ての方を対象としたものである。

#### ワガネヤガワ健康ポイント事業

**問** 平成29年度の取組内容は、より幅広い層に参加いただける

ように、利便性が高いクオカードや、抽選方式による魅力的な景品の導入など、事業内容を刷新する。

#### 第3子以降の給食費助成

**問** 学校給食費の第3子以降の無償化について、市の検討状況は。

**答** 先進事例等を調査・研究するなど、実施に向けて検討を進めている。

#### 中学校給食について

**問** 中学校給食について、改善が必要と考えるが、見解は。

**答** 「中学校給食在リ方検討委員会」等において、安全で温かい給食の提供方法を含め課題を整理しているところであり、実施に向けて検討を進めていく。

#### 駅前送迎保育ステーションの設置

**問** 人口減少時代を迎えた今、特にデュークス（30歳代から40歳代の共働き子育て世代）を対象にした駅前送迎保育ステーションの設置は有効な施策と考えるが、見解は。

**答** 保育室の確保、送迎時の安全確保の課題があるが、引き続き、保育所等が市域にバランスよく整備され

ているなど、本市の実情を踏まえ、費用対効果を含め、調査・研究を進めていく。

#### 子ども用補聴器 電池交換費用助成事業

**問** 子ども用補聴器電池交換費用助成事業に平成29年度から取り組むが、何デシベルから補助対象か。

**答** 大阪府難聴児補聴器交付事業について、府ホームページでは「身体障害者手帳の交付対象とならない軽度の難聴児に対して」となっているが、実際には、交付対象者両耳60デシベル以上となっており、それに基づいて助成を行う。

#### 読書通帳の導入

**問** 読書通帳を導入するに当たって、どのようなPR方法を考えているか。

**答** 市内の図書館全館及び全小中学校において周知するとともに、市広報誌やホームページに掲載する。

#### 手話言語条例の制定

**問** 手話が実際の生活にいかされるためには、市民に理解や協力を求め、手話の普及を後押しする具体的な法整備が必要と考え、手話言語条例の制定を要望するが、見解は。

**答** 大阪府の条例が施行されることを踏まえ、他の自治体の動向等を注視しつつ、当事者団体との意見交換を行い、条例制定についての検討を深めていく。

## 食品ロス削減について

**問** 食べられるのに捨てられてしまう食品ロスの削減について、見解は。

**答** 「ごみ質分析調査」結果で、手付かず食品や売れ残り食品が多く含まれており、対策が必要と認識している。

**問** 料理を残しがちな宴会で食べ残しをなくすよう呼び掛ける「30・10（さんまる・いちまる）運動」について、行政と事業者が一体となり、取り組む必要があると考えるが、見解は。

**答** 食べ残し食品の減量に有効であることから、先進事例を研究するとともに、各種団体等の意見を踏まえ、積極的に検討していく。

## 家庭用防災用品購入補助事業

**問** 家庭用防災用品購入補助事業の導入決定に至る検討の経緯は。

**答** 防災の第一の基本は、まず「自分の命は自分で守る」であり、そのためには各家庭に家庭用防災用品を備蓄してもらうことが必要であるため、補助することにより家庭内備蓄を促進するものである。

## 動物愛護について

**問** 愛護動物の遺棄を防止するための啓発活動をより推進していく必要があると考えるが、見解は。

**答** 人と動物の共生する社会の実現に向け、遺棄・虐待防止の看板設置やチラシの配布等を行っていく。

## （仮称）ねやがわ子育てスタート応援クーポン

**問** 主に在宅で子育てする保護者のリフレッシュのため、一時預かり保育などが利用できるクーポン券を発行されるが、実施の時期及び今後の進め方は。

**答** 実施時期は、平成29年10月を予定しており、それまでの間、対象となるサービスの実施事業者との調整や市民への周知等を行っていく。



（仮称）子育てリフレッシュ館  
（完成イメージ図）

## 東寝屋川駅前線について

**問** 東寝屋川駅前線については、打上高塚町土地区画整理事業と街路事業を併せての整備促進となるが、平成29年度の達成目標は。

**答** 平成31年度の工事着手に向け、土地区画整理事業と連携を図り、物件移転補償や用地買収等を行っていく。

## 空き家等・老朽危険建築物等対策計画

**問** 社会資本整備総合交付金の補助事業には、11の支援制度などがあるが、空き家等・老朽危険建築物等対策計画では、交付金の補助事業を視野に入れて策定するのか。

**答** 空き家等の利活用や除却などに対し、支援制度を検討していく。

**問** 平成29年2月に国土交通省住宅局において住宅確保要配慮者の住宅確保に向け、空き家等をセーフティネット住宅として積極的に活用する制度として「新たな住宅セーフティネット制度」が示された。

空き家等・老朽危険建築物等対策計画の中で反映すべきと考えるが、見解は。

**答** 空き家等を活用する際、耐震性や安全性を向上させるため、改修費などを補助する国の制度の趣旨を踏まえ、当該計画において総合的に検討していく。

## 結婚新生活支援事業

**問** 一定所得以下の世帯に対して、居住費等の資金援助を行う事業を、国の制度を活用した取組として開始される。

結婚新生活支援事業について、事業の狙いは。

**答** 新婚世帯の経済的負担を軽減することにより、少子化対策の強化及び市内の定住促進が図られるものと認識している。

## 御当地ナンバープレート

**問** 御当地ナンバープレートの交付については、平成26年度から2000枚交付された。今回は5000の原動機付自転車の他に90ccと125ccにも交付されるとのことだが、事業効果は。

**答** 市への愛着の高まり及び対象を拡大したことによる一層のPR効果が期待できると考える。

**問** 交付枚数算出の根拠と実施の時期は。

**答** 交付実績等を基に算出し、交付の時期については、デザイン決定後のできるだけ早い時期としていく。

## イオンモール四條畷

**問** イオンモール四條畷の開店後、交通量が増加し、平成29年3月には市と警察による現地検証も行われたとのことだが、今後の対策は。

**答** 開店後における課題については、警察・開発者と協力し解決することとしており、その都度、関係者で現地の状況確認を行い、路面表示等による安全対策を講じていく。

## 萱島駅から総合センター間の交通

**問** 萱島駅から総合センター間の交通について、地域対策、高齢者施策として、見解は。

**答** 便数が少ない現状を十分認識した上で、市民の利便性を高められるよう、地域公共交通協議会において、検討していく。



## 新風ねやがわ議員団

## 子育て支援の強化など

## 次代を見据えた政策提言！

|       |      |       |       |       |        |       |
|-------|------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 廣岡 芳樹 | 池 真一 | 金子 英生 | 北川 健治 | 北川 光昭 | 森本 雄一郎 | 山崎 菊雄 |
|-------|------|-------|-------|-------|--------|-------|

## 予算編成について

**問** 第45代米大統領にトランプ氏が就任された。世界が大きく変わる可能性をはらんでいる。市長は、世界経済の不安定な状況をも加味した上で、平成29年度予算を編成せざるを得ない状況であったと思うが「不安定さへの憶測」に対する対策等は。

**答** 国際情勢から来る影響等については、私の信念である「政治は暮らしである」という考えの下、市民生活の向上や安全・安心の確保を目指していくべきと考える。一方で、不確実な将来にも対応することを意識しつつ、施策・事業を推進することが重要であると認識している。

我が会派は、昨年11月に平成29年度の予算及び政策について、「新風ねやがわ議員団の政策提言」を行った。提言については市政運営に対する重要項目であり、平成29年度市政運営方針及び当初予算に計上された諸施策とともに伺う。

**問** まず、予算総論について、合計1666億5000万円は平成28年度に引き続き過去最大の予算規模と

なっている。人口減少のトレンドにおいては、「ダウンサイジング」をまずは念頭におくべきである。また、経済学上という本来の意味での積極予算を考えると、本市の場合、国における積極予算に連動している予算であり、市内のみをマクロ的視点で見ると、税収入や失業率、生活保護費等だけを見ると積極予算から消極予算への転換期であるようにも見受けられる一方、ミクロ的視点からは、市民生活の実感としては景気上昇を感じにくく、実質賃金が減少トレンドから抜け出せないことに起因していると推測できる。

財政政策としては、市内GDPの増加をできるだけ国の政策に依存するとともに、本格的なダウンサイジングに対応できるような仕組みを形成していくことが肝要となる。

市長は、平成29年度予算を「積極予算」と捉えているのか、また財政政策については積極的財政政策、消極的財政政策についてどのように予算に反映させているのか、見解は。

**答** 「子育て支援の充実」「救命救急体制、防災対策の強化」に重点を置き、次代につなげる積極的な予算と

なったと考える。財政政策の予算への反映については、国の政策等の影響を受ける施策は、その動向等を踏まえた対応を、独自施策は市民ニーズ等を踏まえ判断する。

**問** 「予算編成方針」の基本認識等について、地方公共団体の予算編成については、国から示される「地方財政対策」が基本となる。財政力指数0.7前後、地方交付税が一般財源の大きな割合を占める本市にとっては、「地方財政対策」の持つ意義は重要であると考えている。平成29年度の地方財政対策についての基本認識及び本市の平成29年度当初予算編成との関わりについて見解は。

**答** 地方税等の増加見込みにより、地方交付税は減とされたものの、平成28年度を上回る一般財源総額は確保されるものと認識している。当初予算との関わりについては、地方財政対策における伸び率等を踏まえた上で、予算を編成したところであり、その執行過程においても考慮すべき内容であると考えている。

**問** 平成27年度の財政状況についての事実が述べられているが、市長として、今後、様々な政策の推進を図る上で、この財政状況の評価についてはどのように認識されているのか。また、今後はどのような財政状況を想定されているか。

**答** 行財政改革の着実な推進などにより、財政基盤の強化が図られてきたが、財政構造の改革が必要であると認識する。今後の財政状況の想定

については、次代につなげる行財政運営を進めることにより健全な財政状況が確保できると考える。

**問** 予算編成の基本方針で「都市格の向上」が随所でうたわれている。市長が考える「都市格の向上」とは。

**答** 事務権限や専門性の拡充、内部統制の強化による「市役所の格」の向上と、暮らしが良くなったと実感できる「市政の格」「まちの格」の向上によるものと考えている。

**問** 中核市移行と都市格についてはどのように考えているか。

**答** 中核市への移行は保健所を始めとする様々な事務権限が拡充され、市民サービスの充実などが期待される。それに応えることで本市の都市格が大きく向上すると考える。

以下、主要な施策について伺う。

## 国民健康保険料の引下げのための財源について

**問** 市営住宅整備計画の見直し効果額を活用し、国民健康保険料の引下げを実施するとしているが、平成29年度だけではなく、以降の経常的な財源が必要となる。対策は。

**答** 平成30年度以降の市の国保財政の運営については、大阪府における運営方針や保険料の取扱い等の決定を受け、市の方針を定める。まずは、医療費の適正化及び収納率の向上並びに生活習慣病予防等の健康づくり施策を推進するなど、より一層の財政健全化を図っていくことが原則と考える。

## ドクターカーの導入について

**問** 枚方寝屋川消防組合を中心に枚方、交野、寝屋川各市と関西医大が連携し、重篤傷病者の救命を図る体制になると聞き及んでいる。完璧な制度設計にはなお、時間を要するが、現状の課題と将来の展望は。

**答** 運用開始後、運用状況や事業効果など様々な検証を重ねていく中で、課題の抽出を行い、改善していく。



ドクターカー運用開始

## 介護予防・日常生活支援総合事業について

**問** 事業の成功には、これに係る多様なサービス提供主体がうまく機能していかなければならない。市としては、それぞれの団体の自由な事業活動を尊重しながらも、全体的なマネジメントを行わなければならない。心掛けていくことは。

**答** 総合事業の目的であるサービスの充実と費用の効率化が図れるよう推進する。

## 子育て支援施策の強化

**問** 切れ目のない子育て支援の中で、特に「産後」部分の支援が脆弱なことから、また厚生労働省が平成29年度に産婦健康診査の費用を2回分助成する「妊産婦健康診査事業」を新設することから、産後ケアのサポートにも注力し、併せて「産後ケア事業」の検討も行うことについて見解は。

**答** 産後ケアについて、産後初期段階の母子支援の一つとして検討する。

**問** 待機児童ZEROプランの児童受入促進事業について、年度途中の児童の受入れを促進するために、予め採用しておくということは一定理解できるが、年度初期においては、児童数に対して保育士の配置基準を上回り、余剰となる時期が発生すると考えられる。市立保育所において、この間の保育士の仕事内容は何を行うのか。また民間保育所に対しては、何人分の補助を想定しているのか。

**答** 新たな児童を受け入れるまでの間、クラス担任のサポートや配慮を必要とする児童のフォローを行う。また民間保育所においては年間延べ56人分の補助を想定している。

## 国外の交流事業

**問** 上海市黄浦区へ副市長を始めとする行政一行が公式訪問した。国外

の各友好都市とは新たな一歩が刻まれると期待しているが、黄浦区とは、どのような関係を築いていくのか。

**答** 新たな友好関係の構築に向けて努めていく。

## 新教育長制度

**問** 4月から新教育長制度が開始された。教育委員会の事務長としての前教育長制度から特別職の新教育長制度に変わることから、教育委員会の体制について、例えば事務職に特化した教育次長の配置など、新たな考えがあるのか、同時に教育委員長の廃止が行われることから、新教育長制度への移行及び教育委員長廃止後の教育委員体制については、一定整理が必要であると考えるが、見解は。

**答** 教育次長の配置については、今後状況に応じて判断していく。体制の整理については、教育委員長と教育長の両立が整理され、教育行政の責任の明確化が行われると考える。

## 中核市移行検討に向けての取組

**問** 様々な課題整備を行っていく中で、優秀な人材の確保と職員のモチベーションの向上が肝要である。インセンティブを与える意味からも職員給与の在り方を根本から見直し、職務と給与の連動や人事評価の在り方などを再度検証・検討する必要があると考えるが、見解は。

**答** 人事評価制度や給料表及び各種手当の在り方について見直しを行っていく。

## 市議会諸課題等研究会

市議会諸課題等研究会では、議会の改革、議会の活性化に関する課題について、議員間で調査・研究を行っています。

これまで研究課題として、政務活動費収支報告書等のホームページでの公開、議員定数・議員報酬、一般質問における一問一答方式、通年議会の導入などについて議論を進めてきました。

今後、調査・研究の結果を取りまとめ、議長への報告を行う予定です。



日本共産党市会議員団

さらなる市民満足度向上へ

市民の暮らし応援の取組を

太田 徹  
石本 絵梨菜  
中林 和江  
西田 昌美  
前川 奈緒

市民の意見を聞く市政の実現と、29年度予算での市民の命、暮らしを守る新規事業や拡充は評価します。

国民健康保険について

市営住宅建て替え見直しの効果額を利用して、保険料引下げのための5億5000万円の法定外繰入れは高く評価する。「下がった」と市民が実感できる引下げを。

引下げに向け精査する。

平成30年度の広域化以降も保険料引下げの努力を求める。

府の決定を受け方針を定める。

中核市移行について

市民の声を聞いて進めること。

市民の思いを把握し、市政運営を進めることは当然と考える。

子どもを守る施策

待機児童ZEROプランや子育てクーポン券、子ども食堂の運営費等補助、中学校の学習支援の対象拡大等を評価する。市独自で「子どもの生活に関する実態調査」の実施を。

必要性も含め検討する。

あかつき・ひばり園の引継ぎは、保護者の不安解消と安心できる

療育体制づくりに努める。

病児保育所の拡充を。

開設を事業者に要請している。

小中学校について

労働安全衛生委員会の設置は評価する。29年度の教職員の配置は、適正に配置される見込み。

就学援助制度の入学準備金倍額は評価する。前倒し支給へ改善を。

実施に向け検討を進めている。

施設一体型の小中一貫校の問題点についての認識は。

本市に適した形で解消していく。

全校区を小中一貫校へ移行するに当たり全市で市民の声を聞くべき。

様々な手法で聞く。

児童保育について

保護者の願いである留守家庭児童会（学童保育）の土曜日開所を。

他市の状況等を調査・研究する。学童保育指導員の待遇改善を。国の動向を注視し検討する。

介護・医療について

介護に係る新総合事業の周知は、パンフレット作成や出前講座など分かりやすく周知を図る。

高齢者の願いである介護保険料の減免制度の創設を。

課題として調査・研究する。

後期高齢者医療制度の改善で負担増となる。丁寧な説明を。

府広域連合に分かりやすいリーフレット作成を要望している。市の広報誌などでも周知に努める。

職員の配置について

ごみ収集の民間委託が拡大されているが災害時の体制は。

委託事業者とも協議している。

生活保護ケースワーカー補充を。標準数を踏まえ適正配置に努める。

ごみ減量について

サマーリサイクル方式に変更への今後の課題は。

可燃ごみの更なる減量が課題。

ごみ減量へ市民への意識喚起は。創意工夫していく。

事業所ごみ減量への取組は。多量排出事業所へ訪問し、減量と分別の徹底を呼びかける。

防災・防犯対策

家庭用防災用品補助や福祉避難所への災害用品備蓄、防災井戸設置等市民の命・財産を守るための施策は評価する。災害時の職員体制は。

平成29年度策定予定の業務継続計画の中で検討する。

夏休み中の夜回り拡充を評価する。更に安全安心なまちへ。引き続き進める。

議会  
会  
日  
誌

【2月】

3日 全員協議会

9日 幹事長会

21日 議会運営委員会

27日 本会議（第1日）

議会広報委員会

中核市移行調査特別委員会

厚生常任委員会

文教常任委員会

総務常任委員会

建設水道常任委員会

1日 議会運営委員会

本会議（第2日）

3日 幹事長会

7日 本会議（第3日・代表質問）

8日 本会議（第4日・代表質問）

9日 厚生常任委員会

文教常任委員会

議会運営委員会

10日 厚生常任委員会

文教常任委員会

13日 総務常任委員会

14日 建設水道常任委員会

15日 総務常任委員会

建設水道常任委員会

21日 議会運営委員会

本会議（第5日）

22日 議会広報委員会

30日 市議会諸課題等研究会

4月 幹事長会

7日 議会広報委員会



## 障害者施策について

**問** タブレット端末での手話通訳機能等の拡充は評価する。今後の改善に当事者の意見を反映すること。

**答** 障害者団体の意見を踏まえ施策を推進する。

**問** 手話言語条例制定の進捗は。

**答** 府の条例施行を踏まえ当事者と意見交換し、調査・研究する。

**問** 障害者医療助成制度の改悪中止を府に強く求めること。

**答** 市町村の負担増としないこと等を要望している。

**問** 大谷の里で18歳未満の障害児の受入れを。

**答** 4月から支援学校高等部の生徒が利用できるよう進めている。

## 文化・平和・エネルギー

**問** 囲碁将棋活動推進事業を評価する。具体的な支援を。



寝屋川囲碁将棋まつり

**答** 活動団体等と連携し進める。

**問** 太陽光パネル設置補助対象を家庭用から福祉施設に拡げること。

**答** 調査・研究する。

**問** 核兵器廃絶に向け市も協力を。

**答** 平和行進への協賛等、様々な機会に核兵器廃絶を求めていく。

## LGBTについて

**問** 性的マイノリティーの人の人権を守る基本方針の策定を。

**答** 職員研修、市民への周知に努めている。今後取組を進める。

**問** 申請書等の性別欄削除について。国や他市の動向見て調査・研究。

## 商業振興について

**問** 住宅リフォーム助成制度創設を。実施目的・効果等を調査・研究。

## 農業施策について

**問** 農地保全の基本方針は。

**答** 府の計画を注視し保全に努める。ふるさと納税の返礼品に地元の農産物を。

**問** 市の農産物を含め検討している。

## 街づくりについて

**問** 対馬江大利線整備事業、京阪連続立体交差事業の前進を。

**答** ていねいに交渉し進める。

**問** 地域の声を地域公共交通網計画に反映させること。市内公共施設を巡回する車の検討を。

**答** 市民アンケート等でニーズ把握し地域公共交通協議会で検討。

# 中核市移行調査特別委員会 活動報告

寝屋川市は、中核市への移行に向けた取組を進めており、市議会では、昨年6月に設置した中核市移行調査特別委員会において、中核市移行に関する調査・協議を行っています。

これまで委員会では、中核市に移行した場合に大阪府から移譲される事務の概要や財政への影響、保健所の専門職確保の必要性、寝屋川保健所の視察など、中核市移行に伴う課題について調査を進めてきました。

## 中核市の先進市を視察しました！

1月13日には、平成24年に移行した豊中市を、2月1日から2日には、平成27年に移行した埼玉県越谷市と、平成30年に移行予定の川口市をそれぞれ視察し、先進市の取組状況を調査しました。



## 大阪維新の会議員団

### 子育て世代のニーズ

#### 都市格の向上とは

中川 健  
坂光 勇哉  
杉本 健太  
元橋 理浩

#### 市政、市民の声について

**問** 市民から暮らしが良くなった。所得が増えた。景気が良くなったとの声はあったか。

**答** 全ての市民の方々が景気の回復を実感できるまでには至っていないと考える。しかし、大阪府内における有効求人倍率や完全失業率は改善されていることから景気が良くなったと感じる市民も増えていると認識している。

**問** 市民からの声で、市が直面している課題、期待していることは。

**答** 平成26年度の市民意識調査において、防犯対策、災害対策、子育て施策などが、重要度が高く、満足度が低い施策として位置付けられていることが課題であり、その充実に期待されていると認識している。

**問** 市民目線での市政改革、市役所改革とは。

**答** 市政改革、暮らしが良くなったと実感できるまちになるための安全安心・市民福祉・まちの魅力などの向上に資する取組。また、市役所改革は、市民ニーズに対応できる専門性や職員一人一人の意識の更なる向上、内部統制の強化など、市民に一

層信頼される市役所になることであると考ええる。

#### 子育て支援について

**問** (仮称)子育てリフレッシュ館について、保育所に預けながら働く家庭が多いが、それらの家庭での利用も可能な施設であるか。

**答** 親子で遊べる場、子育て中のリフレッシュなど、子育て家庭への更なる支援の充実を図るためのものであり、当然、就学前の全ての子どもが利用できる。

**問** 多様化する子育て世代のニーズはどういった認識であるか。また、(仮称)子育てリフレッシュ館は、そのニーズに即したものであるか。

**答** 近年、少子化や核家族化の進行、共働き家庭の増加など、子育て世代のニーズも多様化している。そのため、実施予定の事業は、子育て世代を対象としたアンケート結果をもとに、ニーズに即したものである。に、ニーズに即したものである。

**問** 待機児童ZEROプランでは、年度当初、年度途中の待機児童の解消も見込まれるか。

**答** 年間を通じた待機児童の解消を目指した取組として策定している。入学準備金は、約80以上の市区

町村で入学前に支給されている。本市でも入学前に支給できるか。

**答** 入学前の支給について、実施に向け検討を進めている。

#### 国民健康保険について

**問** 平成30年度から都道府県単位に一元化される国民健康保険。本市の試算、市民の保険料負担は。

**答** 大阪府において検討が進められており、引き続きその中で本市の状況を説明していく。

**問** 市営住宅整備計画の見直しの効果額等5億5000万円を活用し、保険料を引き下げるとあるが、保険料はどうなるのか。

**答** 医療費の増減や被保険者数の状況の見極めが必要であり、これまでの保険料の取扱い経過を踏まえ、引下げに向けて今後精査していく。

#### 人事制度、給与制度について

**問** 中核市にふさわしい人事、給与制度とは。人事、給与制度の積極的な改革とは。

**答** 能力と実績を基本とした人事制度とする。人事評価制度や給料表及び各種手当の在り方について見直しを行い、役職や勤務成績に応じた給与制度とする。

#### 中核市移行、都市格の向上

**問** 都市格とはどのような条件を満たし、高くなるのか。誰が測るのか。

**答** 事務権限や専門性の拡充、内部統制の強化による「市役所の格」の

向上と、暮らしが良くなったと実感できるまちになるための安全安心・市民福祉・まちの魅力など「市政の格」「まちの格」の向上により、都市格が向上するものであり、市民満足度により、測られる。

**問** 中核市移行による、本市のメリットとデメリットは。

**答** 様々な事務権限が拡充され、新たな行政機能を活用した市民サービスの充実、魅力あるまちづくりの展開ができる。一方で、事務の移譲に伴う執行体制の確立、保健所に必要な専門職員の確保、育成など様々な課題がある。

**問** 地方交付税が減額されるリスクを補うだけのメリットはあるか。

**答** 地方交付税は、地方の財源を保障する制度であることから、今後も適切に確保されるべきであり、中核市移行は本市の都市格を大きく向上させると考える。



中核市制度に関する職員研修



新生ねやがわクラブ議員団

今と次代の

寝屋川をつくる牽引力

板東 敬治  
井川 晃一  
馬場 才  
松本 順一

健康づくりが前進。更に、前進を

問 「健康寿命の延伸」への取組を提言してきた。新年度に策定予定の「(仮称)健康増進計画」の概要は。

答 健康・医療・公衆衛生など専門性の高い分野はもとより、幅広く意見をいただく予定。

問 その計画は、健康づくりに不可欠な「スポーツ振興策」も含めたものとするのが望ましいのでは。

答 審議する委員会において、スポーツの取組等を含め、活発な議論がされると考えている。

問 スポーツ振興の具体的事業は。

答 アスリートの競技を観ることができるとイベントや、健康保持増進事業などを検討する。

学校の環境を、より良く

問 新学習指導要領への対応は。

答 授業時数の増加には、夏季休業日の短縮で対応している。来年度から、夏季休業明けの給食も実施する。

問 教育方針への影響はあるのか。

答 新学習指導要領への対応は、既に先行実施しており、変更はない。

問 小中一貫校の取組が予定されている。ハード・ソフト両面での検討

が必要ではあるものの、早期実施が望ましいのでは。

答 ソフト面では、9年間の系統性に配慮した教育課程の編成、ハード面では、施設・設備などの検討が必要となる。早期に対応を図る中で、確に対応していく。

問 温かい食事への要望は高い。中学校給食実現への取組は。

答 「中学校給食在リ方検討委員会」等で課題を整理しており、実施に向けて検討を進めている。

安心できる保育環境へ

問 年間を通じた、待機児童解消への決意は。

答 実現に向け、全力で取り組む。

問 新たに入園予約制などの事前対策も必要では。

答 他市事例の把握に努め、効果や課題等の調査・研究を進める。

サクラによるシティプロモート

問 提案してきた桜やバラを活用した魅力創出策としての「サクラ☆プロジェクト」が、地域全体へ広がることを期待するが。

答 このプロジェクトは、市民全体で桜を育むことにより、進化させる

という視点を持つ。今後、桜の名所や様々な地域資源をいかすことで、地域全体の事業になると考える。

問 シティプロモーションの戦略を策定されるが、その期待は。

答 地域の魅力や資源の発掘・創出により市民の市への愛着や誇り、市外の方々の市への興味・関心の醸成に寄与すると考えている。



桜の下で遊ぶ子どもたち

街も、建物も、健康に

問 耐震化や火災延焼対策には、対象家屋へ個々にアプローチをするなど、きめ細やかな対策が必要では。

答 28年度、清水町をモデルとして、戸別訪問による耐震化・不燃化の啓発、住民参加型ワークショップを行った。これを他地区に広げていく。

問 火災対策には、感震ブレーカーなどの設置が有効と考えるが。

答 新年度の家庭用防災用品購入補助制度の対象品目に設定する。

問 空き家等の活用には、地域との協働した活用策を求める。

答 「空き家等・老朽危険建築物等対策計画」策定において検討する。

2つの浸水対策。その進捗は

問 浸水対策としての高宮ポンプ場の進捗は。

答 掘削機械の製作を始め、資材調達、地下埋設物等の調査、地域説明会など準備を進めている。

問 古川雨水幹線整備事業は。

答 古川導水幹線への接続工事に向け、接続箇所2か所の実施設計業務を実施している。

政策立案能力が、都市力を高める

問 情報化分野の進展は著しい。既に5年が経過した「情報化推進方針」を検証し、新方針の策定が必要では。

答 時流に即した方針によって情報化施策を牽引する必要がある。新年度に、方針の改訂に取り組む。

問 企画政策立案は、職員による策定も大事だが、有識者や関連団体等の知識を有効に活用するべきでは。

答 新たな企画や事務の推進に外部機関などの専門性の活用を図っていくことは有意義。費用負担等の課題もあり、調査・研究する。

問 国や大阪府の情報提供を主体的に入手し、企画・政策にいかすことは重要。そのための人材の交流についての考えは。

答 国や大阪府との人材の派遣受入れは、必要に応じて進める。



## 3月定例会 議決結果一覧



| 議案番号     | 件 名                             | 議決結果 |
|----------|---------------------------------|------|
| 報告第1号    | 専決処分の報告（寝屋川市国民健康保険条例の一部改正）      | 承認   |
| 議案第1号    | 寝屋川市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正       | 可決   |
| 議案第2号    | 寝屋川市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正       | 可決   |
| 議案第3号    | 平成28年度寝屋川市一般会計補正予算（第6号）         | 可決   |
| 議案第4号    | 平成28年度寝屋川市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）   | 可決   |
| 議案第5号    | 平成28年度寝屋川市介護保険特別会計補正予算（第3号）     | 可決   |
| 議案第6号    | 平成28年度寝屋川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）  | 可決   |
| 議案第7号    | 平成28年度寝屋川市水道事業会計補正予算（第2号）       | 可決   |
| 議案第8号    | 平成28年度寝屋川市下水道事業会計補正予算（第3号）      | 可決   |
| 議案第9～13号 | 寝屋川市執行機関の附属機関に関する条例の一部改正（他4件）   | 可決   |
| 議案第14号   | 寝屋川市個人情報保護条例の一部を改正する条例の一部改正     | 可決   |
| 議案第15号   | 寝屋川市職員の育児休業等に関する条例の一部改正         | 可決   |
| 議案第16号   | 寝屋川市税条例の一部改正                    | 可決   |
| 議案第17号   | 寝屋川市手数料条例の一部改正                  | 可決   |
| 議案第18号   | 寝屋川市建築基準法施行条例の一部改正              | 可決   |
| 議案第19号   | 寝屋川市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部改正    | 可決   |
| 議案第20号   | 寝屋川市立斎場条例の一部改正                  | 可決   |
| 議案第21号   | 寝屋川市立市民体育館条例の一部改正               | 可決   |
| 議案第31号   | 寝屋川市国民健康保険条例の一部改正               | 可決   |
| 議案第22号   | 平成29年度寝屋川市一般会計予算                | 可決   |
| 議案第23号   | 平成29年度寝屋川市国民健康保険特別会計予算          | 可決   |
| 議案第24号   | 平成29年度寝屋川市介護保険特別会計予算            | 可決   |
| 議案第25号   | 平成29年度寝屋川市後期高齢者医療特別会計予算         | 可決   |
| 議案第26号   | 平成29年度寝屋川市公共用地先行取得事業特別会計予算      | 可決   |
| 議案第27号   | 平成29年度寝屋川市水道事業会計予算              | 可決   |
| 議案第28号   | 平成29年度寝屋川市下水道事業会計予算             | 可決   |
| 議案第29号   | 市道の廃止                           | 可決   |
| 議案第30号   | 市道の認定                           | 可決   |
| 議案第32号   | 教育委員会教育長の任命                     | 同意   |
| 議員提案第1号  | 指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書     | 可決   |
| 議員提案第2号  | 無料公衆無線 LAN（Wi-Fi）環境の整備促進を求める意見書 | 可決   |
| 議員提案第3号  | 障害児者の「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書       | 可決   |

※議案内容・議決結果は、市議会ホームページからご覧いただけます。

### 市議会開催のお知らせ

次の市議会の開催は、5月臨時会（5月17日～19日）を予定しています。この臨時会では、主に平成29年度の議会の役員改選が行われます。

臨時会の会期中は、新たな役員の協議が整い次第、随時、会議を開くこととなります。

また、6月定例会の日程は、「広報ねやがわ6月号」と市議会ホームページでお知らせします。

### 本会議を録画配信しています！

市議会で開かれる本会議の様子は、インターネットで録画配信しています。市議会ホームページの「本会議録画配信」から視聴できます。

議会だよりの誌面では、お伝えできなかった議案の審議や代表質問の様子をご覧いただけます。



スマホ版サイト